

# 防災・安全ニュース

VOL. 23

危機管理課

2025年3月号

内線：65-1282

今年も早3月を迎えて年度切り替わりの時期となり、多忙な毎日を送られている方も多いと思いますが、体調を崩されないようご自愛ください。では、今月号もよろしくお願いたします。

今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・地震対策
- ・侵入窃盗にご注意
- ・春一番が関係した山岳遭難事故

## 地震対策

2011年3月11日（金）14時46分に発生した東日本大震災から今年で14年が経過しますが、その後も熊本地震や昨年の能登半島地震など大きな地震が発生しています。日本列島は、複数のプレートが重なる位置にあり、約2,000の活断層もあることから、いつどこで地震が起こってもおかしくない環境にあります。

地震は、一瞬で命を奪う可能性のある災害ですので、**地震で落ちそうな重い物が室内の高いところにはないかの確認、家具の固定や就寝する部屋での寝る場所の検討（家具を置かない。家具が寝ている位置に倒れてこない。）、旧耐震基準（昭和56年5月以前）で建てられた住宅の耐震診断と必要な場合の耐震改修や耐震シェルターの設置を是非ご検討ください。**

木造住宅耐震補強工法の紹介（大阪府HPで紹介されている（一般財団）大阪建築防災センターの参考HP）

→ [https://www.okbc.or.jp/proof2/osaka\\_taishin/top.html](https://www.okbc.or.jp/proof2/osaka_taishin/top.html)

## 侵入窃盗にご注意

闇バイトによる凶悪な住宅への侵入窃盗事件を最近よく耳にします。闇バイトかどうかはわかりませんが、昨年、私の自宅（今治市）の近所で空き巣事件がありました。住人が不在の住宅などに侵入するのが「空き巣」ですが、侵入窃盗の区分には日中の住人在宅中に侵入する「居空き」もあります。

「居空き」は、住人が1人で居て調理中や入浴中、洗濯物を干しているなど、その場を離れられない時や、家族で一部屋に集まってテレビを見ていたり、食事をとっている時を狙って侵入するものです。警察庁の統計資料によると、令和5年1年間の**全国での「居空き」認知件数は995件、そのうち侵入手段で最も多いのが「無締り」775件**で、「無締り」とは鍵が開いた状態のことをいいます。



「居空き」は、**犯人と鉢合わせする可能性が高く非常に危険**ですので、ごみ捨てや近所での買い物などで家をちよっと離れるときも含め、**基本的に在宅の時も玄関と、人が居る部屋以外の施錠を習慣にされることをお勧め**します。

侵入窃盗の区分：空き巣、居空き、忍び込み（住人就寝中の侵入）

防犯冊子（公益財団法人）全国防犯協会連合会

→ [https://www.bohan.or.jp/protect/pdf/sumaitisakue\\_page.pdf](https://www.bohan.or.jp/protect/pdf/sumaitisakue_page.pdf)

## 春一番が関係した山岳遭難事故

春一番の関係する事故といえは、強い風による風浪での海難事故を想像するかと思いますが、山岳遭難事故もしばしば発生しています。中でも1972年3月に発生した「富士山での遭難事故」では、入山していた55名のうち24名が死亡又は行方不明となりました。

その時の富士山は、3月19日午後から雨が降り始め、夜半から横殴りの冷たい雨が降って翌日も降り続き、午後には風の強さが風速30m/s強、瞬間最大風速は約50m/sという状況だったようです。

大勢の人が遭難した主な要因は、雨に対する装備がほとんどない状態で体が雨に濡れ、気温は春一番の影響で平年の気温よりも約10℃ほど高かったにも関わらず、強い風によって体感温度が-40℃程度になったため、低体温症になってしまったことにあるようです。

これから**レジャーシーズン**になっていきますが、**自然を正しく恐れて無理をしないこと**、また、翌日からの仕事を考慮して下山を強行して遭難したグループもあったようですので、**命を最優先に勇気ある判断を下す**ことが大切ですから心の片隅に覚えておいていただければと思います。

#### 【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

今週は、自宅の山茶花（さざんか）が満開を迎えています。この山茶花は、椿と似ているため勘違いされている方が結構いらっしゃるそうです。見分けるのは、花の時期がわかりやすいそうなので、身近に咲いている場合は一度調べて確認してみるといいかも知れませんね。

(N.O)